

保健体育科 学習指導案

日 時	平成 25 年 10 月 10 日(木)5 校時
学 級	2 年 1 組男子 15 名・4 組男子 14 名 計 29 名
場 所	2 年 1 組教室
授業者	伊藤 展博

- 1 単元名 H 体育理論 「2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全
イ 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果」

2 単元について

(1) 教材観

本単元の学習については、「運動やスポーツの合理的な実践を通して、生涯にわたり豊かに運動やスポーツに親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進を図るためには、その意義や効果、安全に運動やスポーツを行う必要性やその方法について理解できるようにする必要がある。」と学習指導要領解説に示されている。

このため本単元は、運動やスポーツを行うことを通して社会性が発達していく効果が期待されること、ルールやマナーに関して合意形成をするためには、プレイの際の配慮について互いの意見の違いを調整したりすることが必要になること、仲間と教え合ったり、相手のよいプレイに賞賛を送ったりすることで適切な人間関係がつけられることが期待されること、運動やスポーツを行う過程で形成された社会性が、日常生活の場でも発揮されることが期待されることなどを中心として構成している。

運動やスポーツはルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることなどを学び、理解できるようにしていく必要がある。

運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果についての基礎・基本を習得する過程を通して、課題を解決し学習した知識を活用したり、内容について理解していくことができる単元である。

(2) 生徒観

本単元で取り上げる「運動やスポーツ」に関わり、生徒がどのような考えを持っているのか意識調査を行ったところ、次の通りであった。

運動やスポーツに関して、「好き」「少し好き」を選んだ生徒が 78.8%であった。また、「運動やスポーツで楽しいと感じる時」は、試合に勝った時や技ができるようになった時、練習して先生にほめられた時などをあげる生徒が多かった。一方で運動やスポーツに関して、「嫌い」「少し嫌い」を選んだ生徒は 21.2%であった。「運動やスポーツで嫌だなと感じる時」は、マラソンや持久走などの長距離走が辛い、鉄棒やなわとびが苦手などが挙げられた。

「運動やスポーツについてのイメージ」については、達成感を味わえる、努力することの大切さを学べる、仲間と協力して勝利し喜びを分かち合えた時の嬉しさがいい、苦しくてやりたくない、できる人は楽しいができない人はあまり楽しくないなどが挙げられた。

日常生活では急速に普及、発達した携帯端末等でコミュニケーションを取っている生徒が多く見られる。直接会って話をするのではなく、「LINE」等のアプリケーションを通じたバーチャルな世界での会話、つながりで連帯感を感じ、のめり込んでいる状況が学校生活の中でも見受けられる。本来、人と人とのかかわりは直接会っての会話や目と目を見ながらのコミュニケーションが大切であり、心身ともに発達段階にある中学生の時期にはふさわしくない状態であると危惧している。

学校生活全体はもちろん、保健体育実技授業、座学となる保健や体育理論においても、グループ活動を通じて話し合い、意見を述べ合い、活発な議論をしながら、当たり前前に備え付けていかなければならない「伝える力」をしっかりと身につけさせていきたいと考えている。

運動やスポーツに関して生徒が積み重ねてきた経験や考え、日常生活での思い・実態などを受け止めながらも、運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について興味を湧かせながら、関心を高めさせたい。また、運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果についての意味や多様な関わり方、学び方を伝え、視聴覚機器や生徒同士の話し合いを活用しながら理解させていきたい。

(3) 指導観

学習指導要領解説では、「知識」について、以下のように記載されている。

「知識については、言葉や文章など明確な形で表出することが可能な形式知だけでなく、勘や直感、経験に基づく知恵などの暗黙知を含む概念であり、意欲、思考力、運動の技能などの源となるものである。また、動きや獲得を通して一層知識の大切さを実感できるようにすることが必要である。」

中学入学後、体育理論を学び技能に関わる「知識」だけでなく、運動やスポーツの多様性、必要性や楽しさ、かかわり方、学び方など、実技授業だけでは得られない「知識」を増やしてきた。この「知識」はこれから生きていく上で、スポーツや運動に関わる意欲やかかわり方に大きく影響していくものと考えている。まさに一生涯を通じた「生涯スポーツ」につながる「知識」である。そういう意味で、本単元で学ぶ「運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果」については、非常に価値ある「知識」を得ることができる単元だと強く感じている。

そのために、本授業導入では、2学期始めに授業で行った「バレーボール」ゲームのVTRを活用し、今、生徒自身が分かっているバレーボールのルールやマナーについて、付せんに書き出させていく。できるだけたくさんの用語が出るように励ましながら、気づかせたい。

展開では、運動やスポーツ(バレーボール)のルール・マナーについて学び、書き出した付せんに仲間と共に比較、分析しながら用語を分類させていく。定義を理解させ、仲間との作業の中で必要な情報を取捨選択しながら、プリントにまとめ自分の考えを説明できるようにしていく。

運動やスポーツを行う際に求められる社会性は、ルールやマナーに関する合意を形成することや適切な人間関係を築くことであるととらえ、運動やスポーツを行うことを通してそれらの社会性が発達していく効果が期待されることを理解させたい。

運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果は、どんなものがありどのようにしていけば効果が高まっていくのかを仲間との話し合いを中心にまとめていく。小グループでの話し合い活動(言語活動)を通して、相手の意見を認め合ったり、まとめたりする作業を通じて、コミュニケーション能力を高めることも念頭に置きながら進めさせたい。

終末では、運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について確かめ、しっかりとまとめさせたい。そのために、テンポ良く授業を進め、自分たちで考え、話し合いでまとめ、書きながら説明できるように導いていきたい。

3 単元の指導目標

- (1) 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、課題を解決するために活動を通して、学習に自主的に取り組むことができるようにする。 【運動についての関心・意欲・態度】
- (2) 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、学習した知識を活用したり応用したりすることができるようにする。 【運動についての思考・判断】
- (3) 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、理解できるようにする。 【運動についての知識・理解】

4 単元の評価規準

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の 技能	運動についての 知識・理解
・運動やスポーツの意義や効果などについて(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツの意義や効果などについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。		・運動やスポーツが心身に及ぼす効果について、言ったり、書き出したりしている。 ・運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、言ったり、書き出したりしている。 ・安全な運動やスポーツの行い方について、言ったり、書き出したりしている。

5 単元の指導計画並びに評価

■運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全

時間	学習内容	関	思	知	評 価 規 準
1	運動やスポーツが心身に及ぼす効果	○			運動やスポーツの意義や効果などについて、指示されたワークシートへの記載や意見交換するなどの活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。
				○	運動やスポーツは身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できることについて、言ったり書き出したりしている。
② 本時	運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果		○		運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、必要な情報を比較したり、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしてまとめた考えを説明している。
				○	運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることについて、言ったり書き出したりしている。
3	運動やスポーツの安全な行い方	○			運動やスポーツの意義や効果などについて、指示されたワークシートへの記載や意見交換するなどの活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。
				○	運動やスポーツの安全な行い方について、必要な情報を比較したり、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしてまとめた考えを説明している。
				○	運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などをふまえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることについて、言ったり書き出したりしている。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

ア 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、必要な情報を比較したり、分析したりして、まとめた考えを説明できるようにする。 【運動についての思考・判断】

イ 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について、言ったり書き出したりできるようにする。 【運動についての知識・理解】

(2) 〈「思考力・判断力・表現力等」を育てるための言語活動の充実のポイント〉

- 1 VTRからルール・マナーを書き出し、自分の考えを説明する
- 2 互いの考えを伝え合い、自分の考えを発展させた事を自分でまとめ、全体に発表する

(3) 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意事項	評価の観点 (方法)
導入 10分	既習事項の確認	○VTR(ハレボール)を見ながら、自分が知っているルールやマナーを書き出す	○できるだけたくさん のルールやマナー に気づかせ、記入させる。	
	学習課題の設定	1 本時の課題を把握する		
学習課題 運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果について知ろう！				
展開 30分	学習課題の追究	2 ルール・マナーについて 定義づけを理解する	○定義をしっかりと 理解させる。	
	言語活動 VTRからルール・マナーを書き出し、自分の考えを説明する			
		3 自分が出した用語を分析・ 比較し、まとめる	○分析・比較しながら 仲間と協力して、まと めさせる。	【思考・判断】 必要な情報を比較し たり、分析したりし てまとめた考えを説 明している。(発言・ プリント)
	言語活動 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる			
	学習課題の解決	4 運動やスポーツが社会性の 発達に及ぼす効果について 話し合いを行う 5 運動やスポーツが社会性の 発達に及ぼす効果について 理解する	○効果を仲間と考 えながら、気づかせたい 。 ○社会性の発達に及 ぼす効果の理解を深 めさせる。	
終末 10分	まとめと確かめ	6 グループごとに発表させ、 本時の学習のまとめをする	○話し合った内容を プリントにまとめさ せる。	【知識・理解】 運動やスポーツの学 び方について、言っ たり、書き出したり している。(発言・ プリント)
	学習の振り返り	7 感想や気づき、考えを発表 する	○多くの生徒に発表 させる。	